

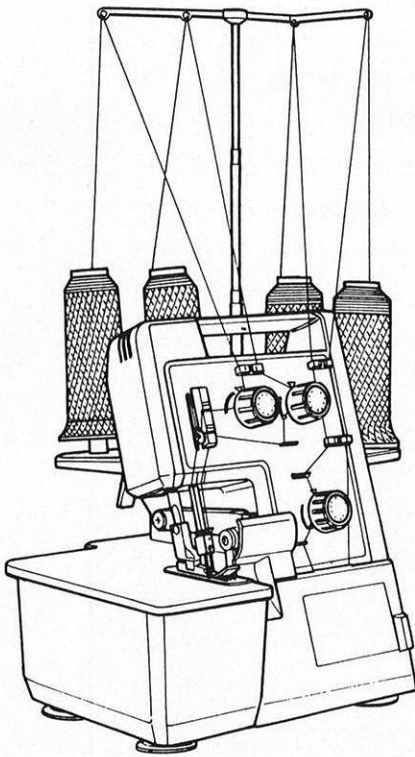
# ヘビーロック

2本針4本糸ロックミシン

**BL4-615 型**

ご使用のてびき

株式会社 **ジューキ**



# はじめに

このたびは、ベビーロック BL4-615型をお買上げいただきまして、ありがとうございます。BL4-615型を最も有効に末永くお使いいただくために、この手引きをお役立てください。

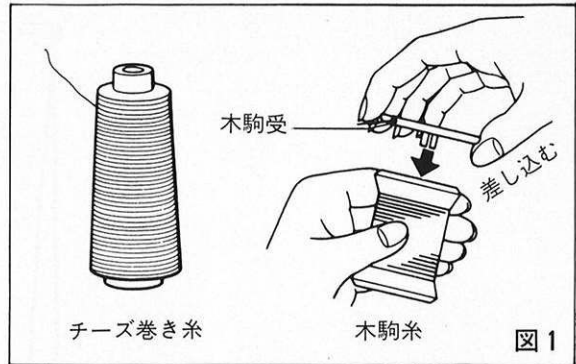
## 目 次

1. 縫うための準備	1
1-1 使用糸について	1
1-2 コントローラーと照明ライトスイッチ	1
2. 各部の名称	2
3. 糸のかけ方	3
3-1 糸かけの前に	3
3-2 縁かがり用ルーパー糸のかけ方	3
3-3 縁かがり用針糸のかけ方	5
3-4 Wチェーン用ルーパー糸のかけ方	8
3-5 Wチェーン用針糸のかけ方	10
3-6 Wチェーンステッチとして使用する場合	11
3-7 安全縫いとして使用する場合	12
4. 糸調子のとり方	13
5. 厚物・段縫いについて	14
6. 送り目の調節	15
7. 針の交換	16
8. メスの交換	17
9. 押え圧力の調節	18
10. 注油	18
11. 照明ライトの交換	19
12. 点検と調整	20
13. カーボンブラシの交換	20
14. 梱包明細	21
15. 仕様	21

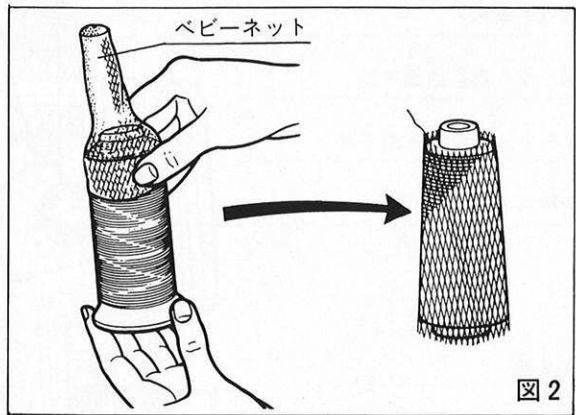
# 1 縫うための準備

## 1-1 使用糸について

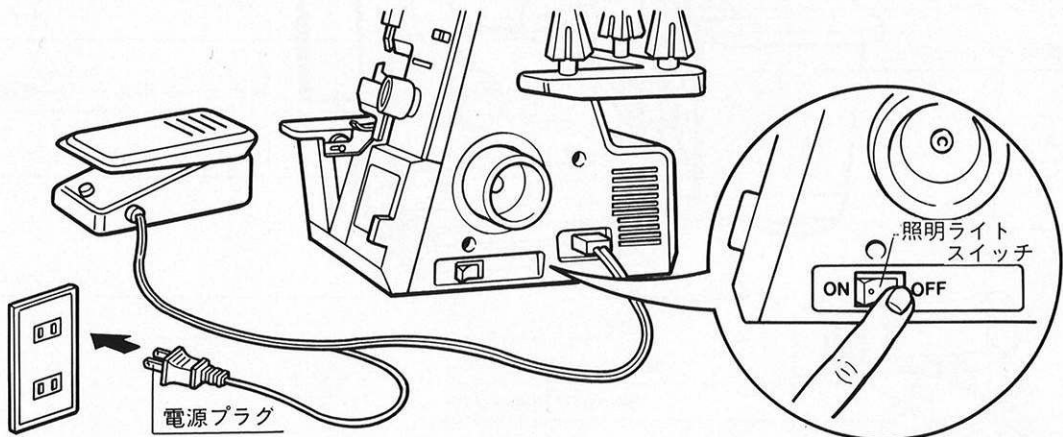
- このミシンには普通チーズ巻き糸（又はコーン巻き糸）を使いますが、木駒糸もご使用になれます。  
その場合、付属の木駒受を木駒糸の穴に差し込んで下さい。（図1）



- 化繊糸などのすべりやすい糸は、付属のベビネットを被せてご使用下さい。（図2）



## 1-2 コントローラーと照明ライトスイッチ



- コントローラーの電源プラグをコンセントに、もう一方をミシン本体のモーター接続器に差し込んでご使用下さい。（図3）  
コントローラーは強く（深く）踏むと速度が速く、弱く（浅く）踏むと速度が遅くなります。
- 照明ライトスイッチを「ON」にすると照明ライトは点灯し、「OFF」にすると消えます。（図3）
- ④ ミシン使用後は必ずコントローラーの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。又、コントローラーの上に物を載せないで下さい。

# 2 各部の名称

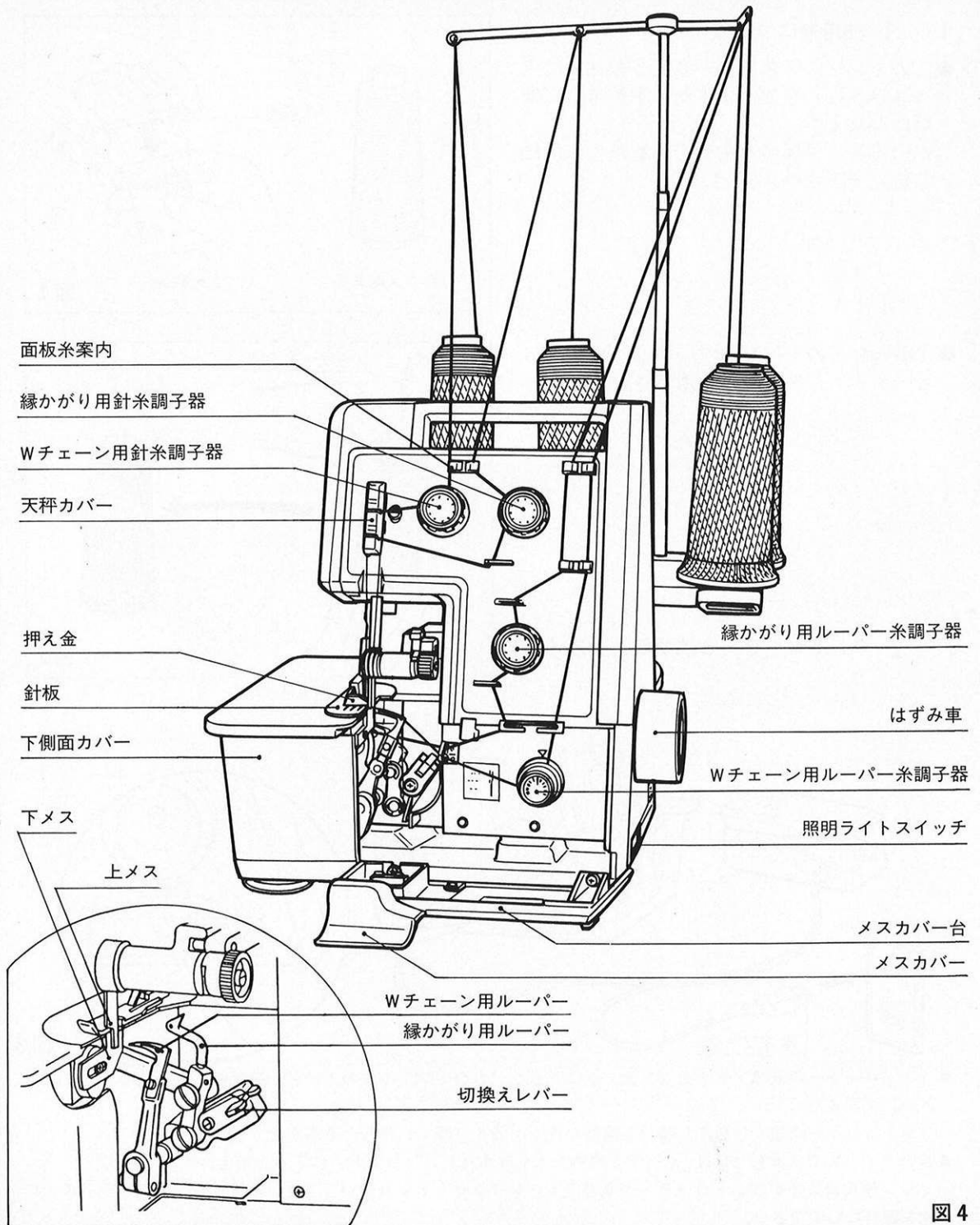


図 4

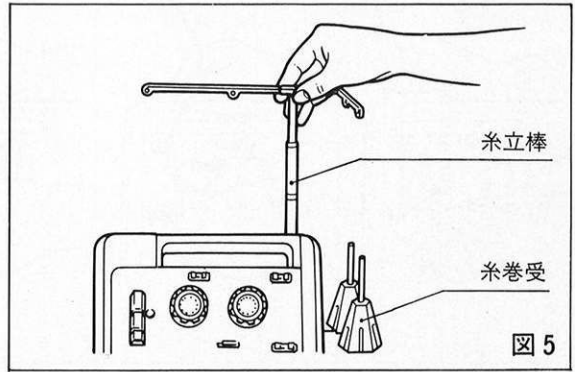


# 3 糸のかけ方

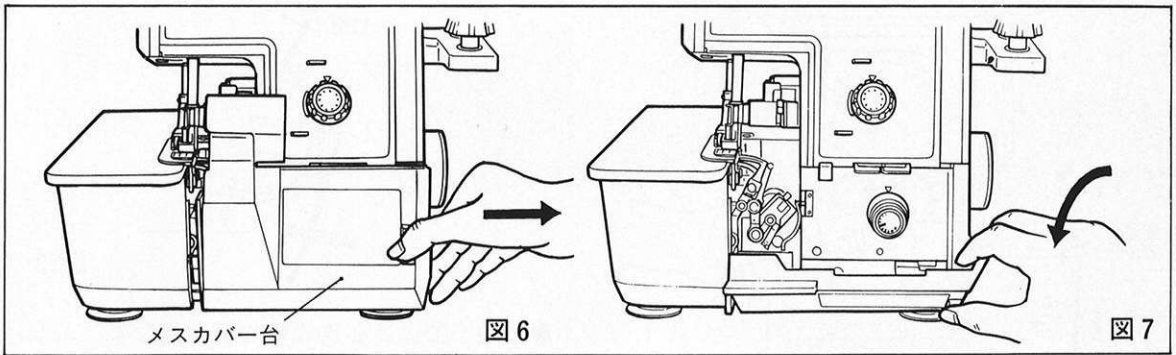
## 3—1 糸かけの前に

メスカバー台を開けると、糸かけ案内図が貼付されていますので、ご参照下さい。又、糸をかける前には以下の準備をして下さい。

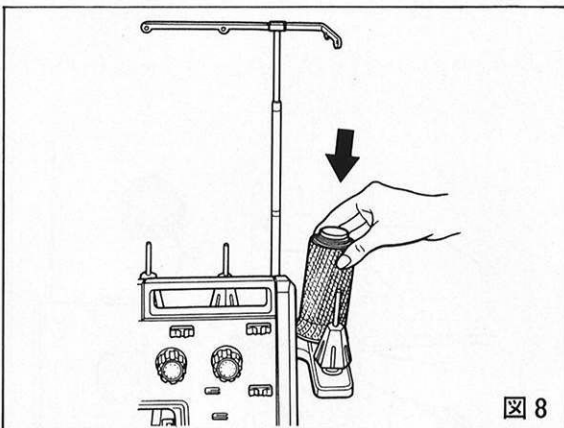
- 糸立棒を伸ばす。(図5)



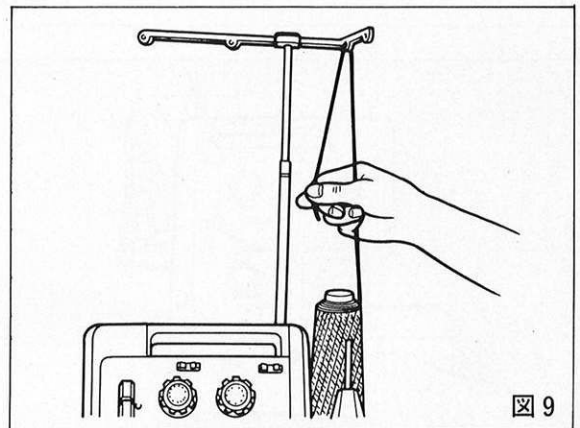
- メスカバー台を開ける。～ツマミを右に引いてから手前に倒す～(図6、7)



## 3—2 縁かがり用ルーパー糸のかけ方



- 糸を糸巻受に固定する。(図8)



- 糸立棒の糸案内に糸を通す。(図9)

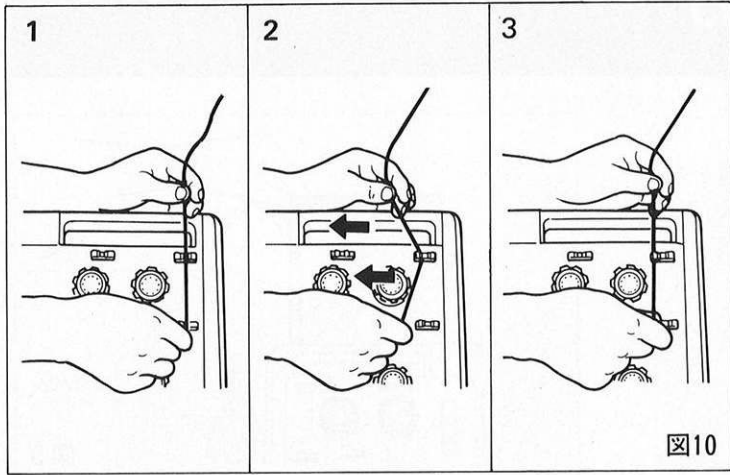


図10

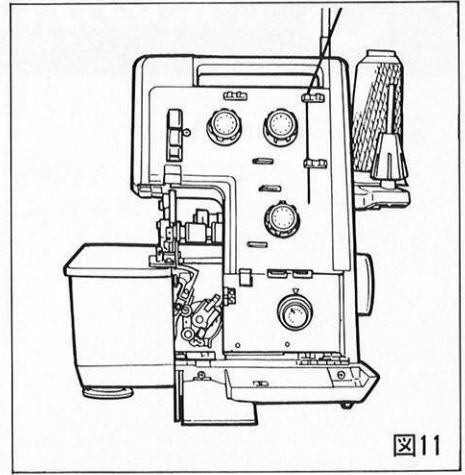


図11

● 面板糸案内(2ヶ所)に糸をかける。(図10、11)

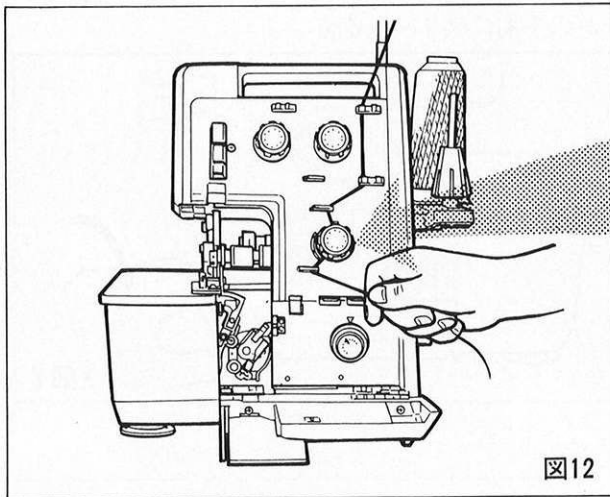


図12

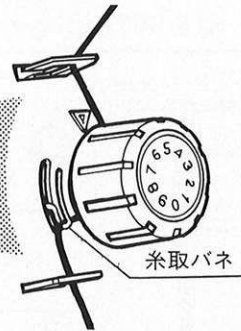


図12-A

- 糸調子器には2枚の皿の間を通して、糸取バネにかける。(図12、12-A)
- 以下、図に従って各糸案内に糸をかける。(図13、13-A)

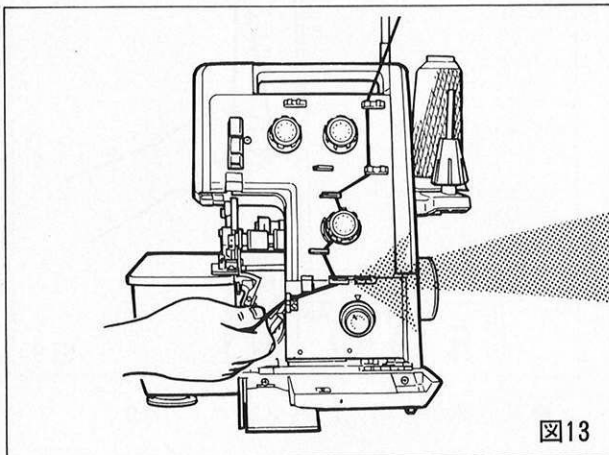


図13

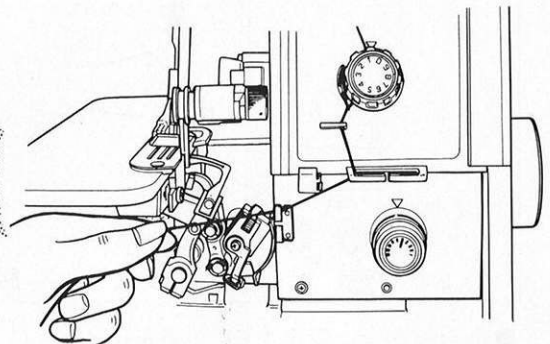


図13-A

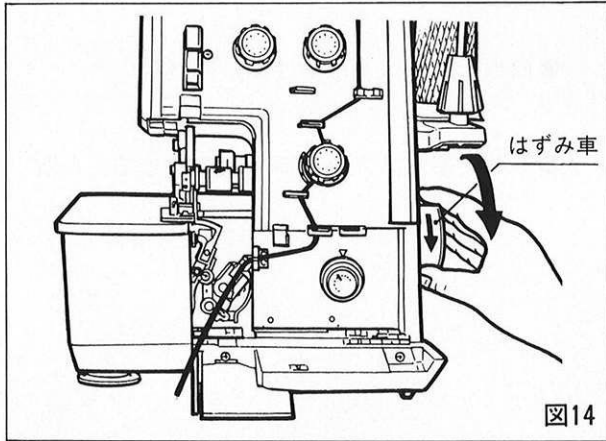


図14

- 次に、はずみ車を廻し、縁かがり用ルーパーを最右点の位置にする。(図14、15)

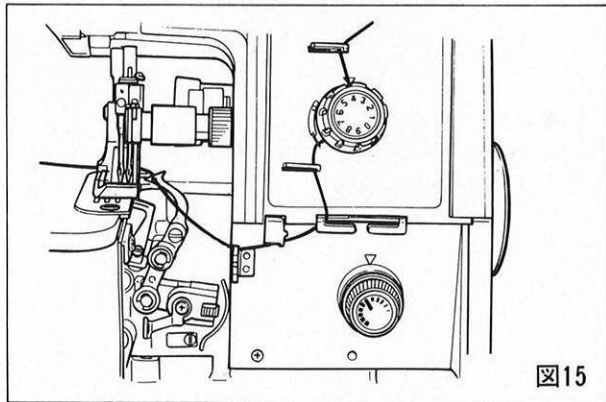


図15

- 縁かがり用ルーパーの穴に糸を通し、ミシンの後側へ約10cm引き出しておく。(図15-A)

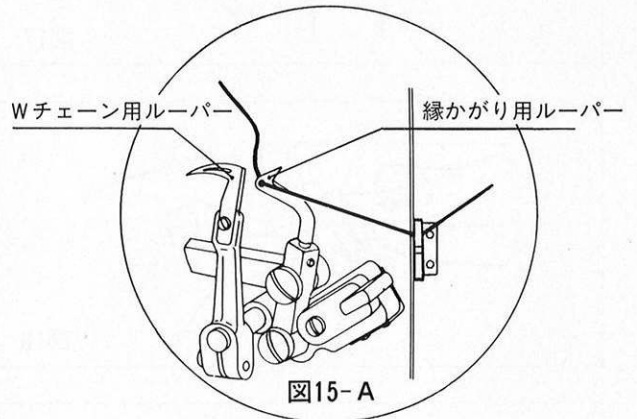


図15-A

### 3—3 縁かがり用針糸のかけ方

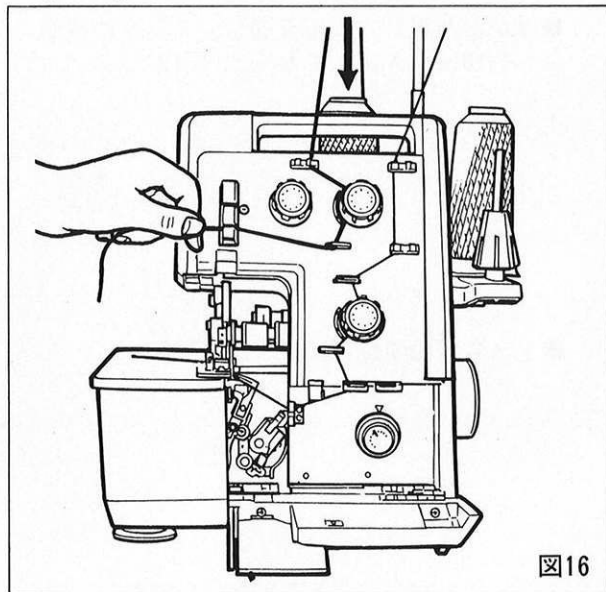
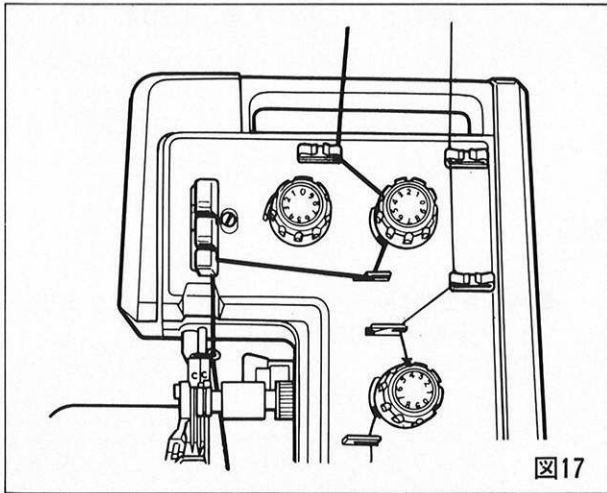


図16

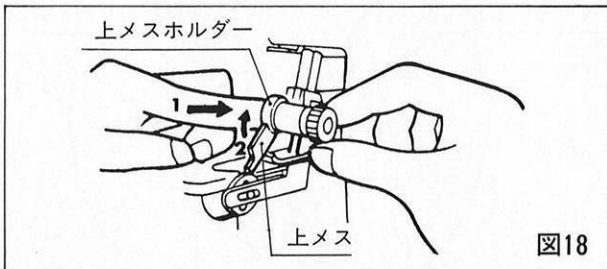
- 糸を糸巻受に固定し、糸立棒の糸案内に糸を通す。(図16)



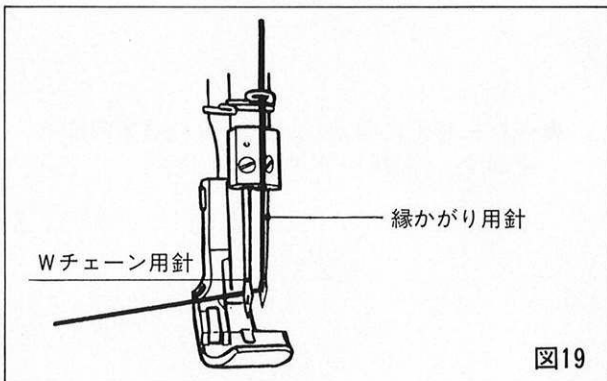
● 面板糸案内に糸をかける。(図17)

● 糸調子器には2枚の皿の間を通して、糸取バネにかける。

以下、図に従って糸をかける。(図17)

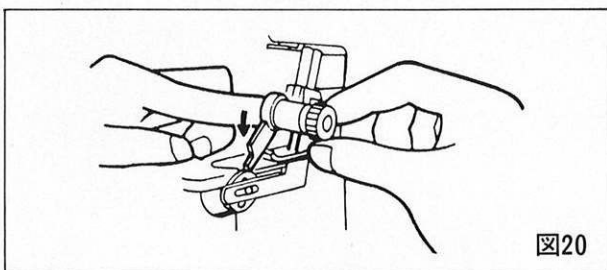


● 針穴に糸を通す前に、まず左手の指で上メスホルダーを右の方向へ押しながら、上メスを上に回転させる。(図18)



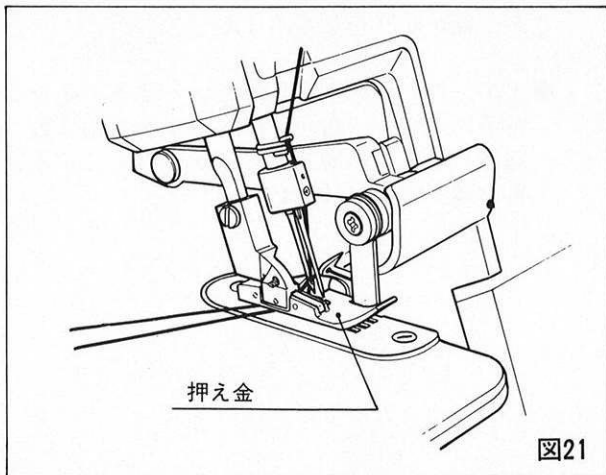
● はずみ車を廻らし、針を上にあげる。

● 縁かがり用針穴に糸を通し、ミシンの後側へ約10cm引き出しておく。(図19)

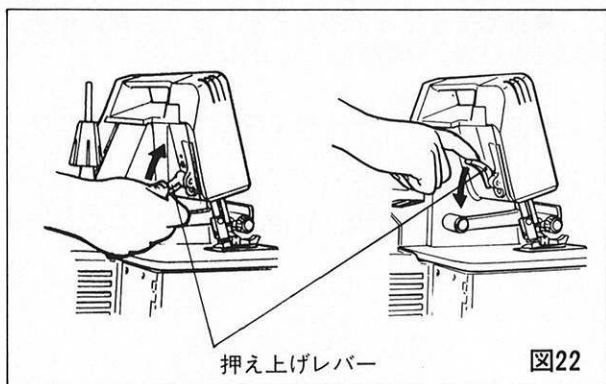


● 上メスを元の位置に戻す。(図20)

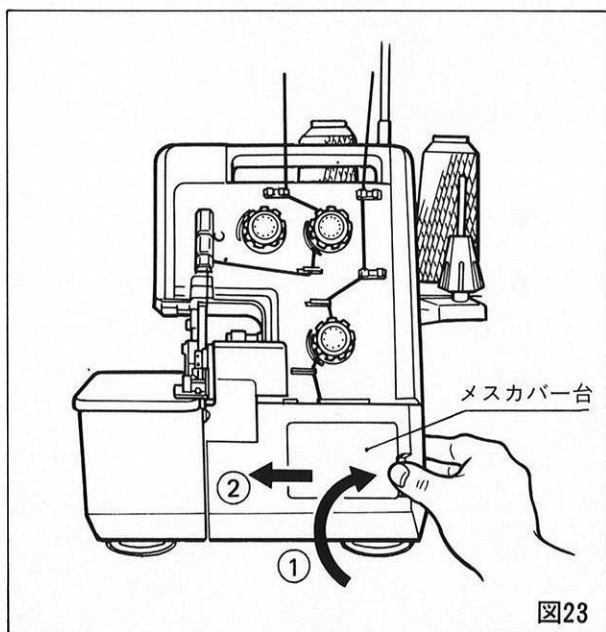




- 押え金を上げ、糸かけの終わった縁かがり用ルーパー糸、及び針糸を押え金の下にセットし、押え金を下げる。(図21)



- 押え金の上げ・下げは押え上げレバーで行って下さい。(図22)



- メスカバー台を閉じる。(図23)

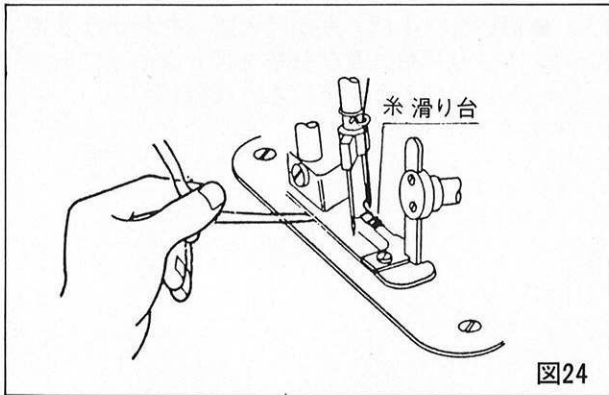


図24

さあ、縁かがりをしてみましょう。

- まず、押え金の下から出ている2本の糸を左手でつまみ、右手ではずみ車を手前に数回廻わして、糸滑り台に糸がからんでいる事を確認する。(図24)

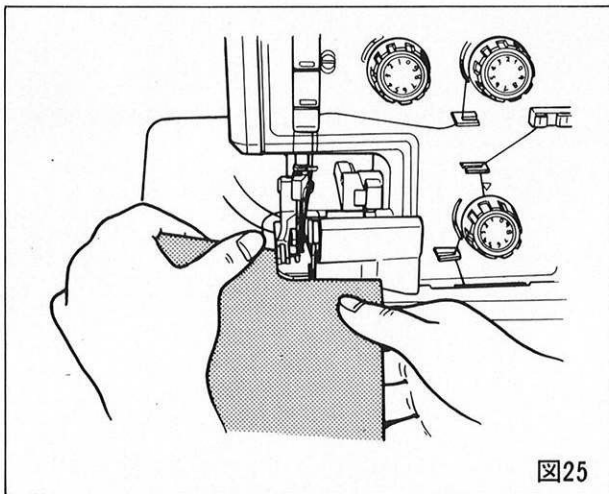


図25

- 押え金を上げて布地をセットし、押え金を下げる。(図25)
- コントローラーを軽く踏んで、ゆっくり縫い始める。

※糸調子のとり方はP13参照。

### 3—4 Wチェーン用ルーパー糸のかけ方

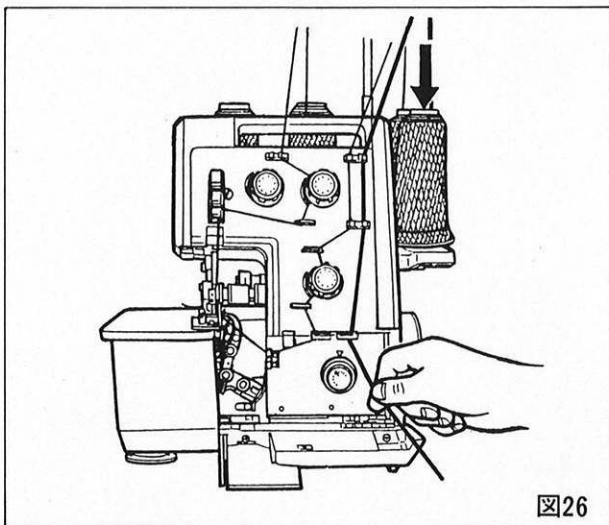


図26

- メスカバー台を開ける。
- 糸を糸巻受に固定し、糸立棒の糸案内に糸を通す。
- 以下、図に従って糸をかける。(図26)

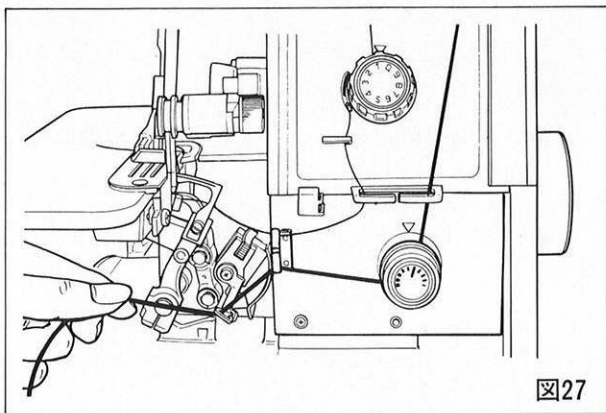


図27

- 糸調子器には2枚の皿の間を通して、糸をかける。  
以下、図に従って糸をかける。(図27)

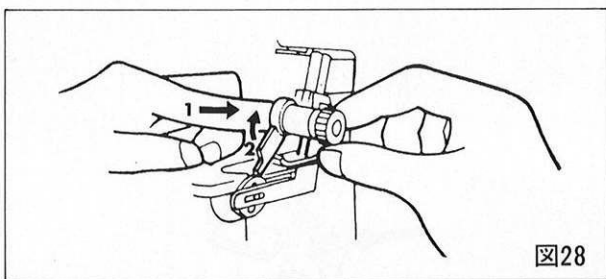


図28

- Wチェーン用ルーパーに糸を通す前に、まず左手の指で上メスホルダーを右の方向へ押しながら、上メスを上に回転させる。(図28)

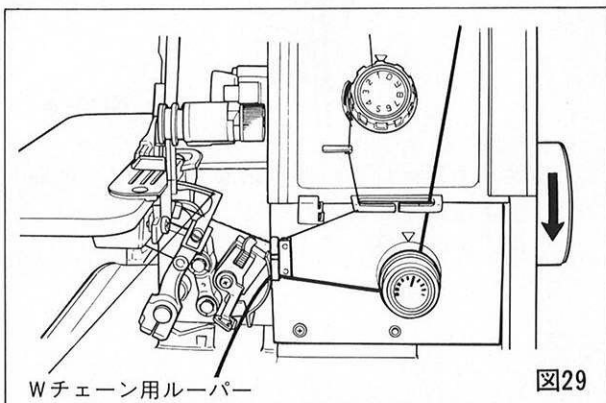


図29

Wチェーン用ルーパー

- はずみ車を廻らし、Wチェーン用ルーパーを最右点の位置にする。(図29)

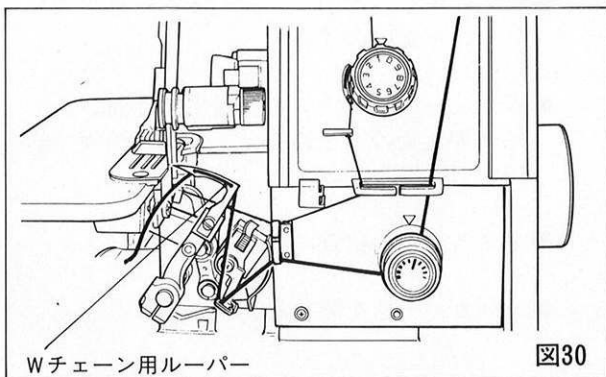


図30

Wチェーン用ルーパー

- Wチェーン用ルーパーのまず向って右側の穴に、続いて左側の穴に糸を通す。(図30)糸は押え金の下を通し、ミシンの後側へ約10cm引き出しておく。

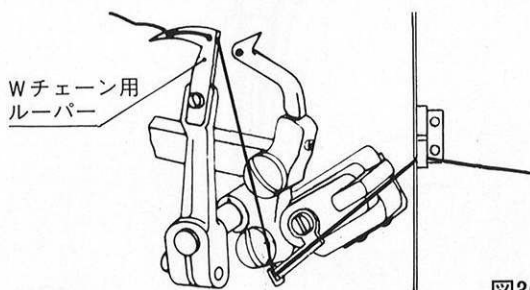


図30-A

### 3—5 Wチェーン用針糸のかけ方

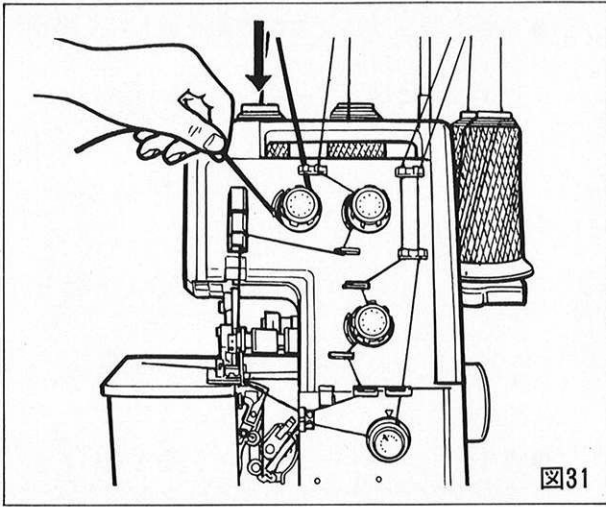


図31

- 糸を糸巻受に固定し、糸立棒の糸案内に糸を通す。
- 以下、図に従って糸をかける。(図31)

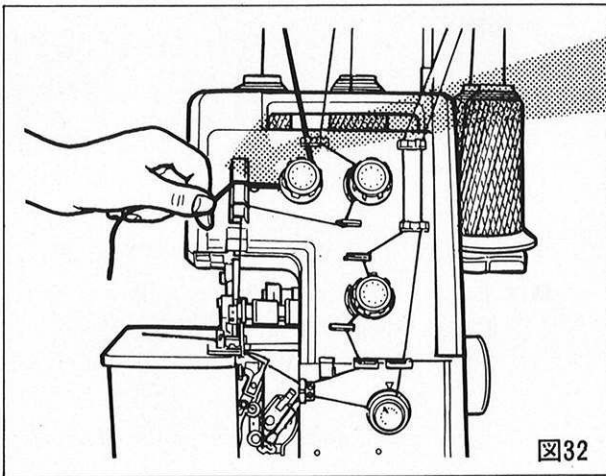


図32

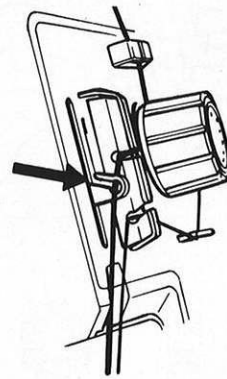


図32-A

- 糸調子器には2枚の皿の間を通して、糸取バネに糸をかける。
- 以下、図に従って糸をかける。(図32)

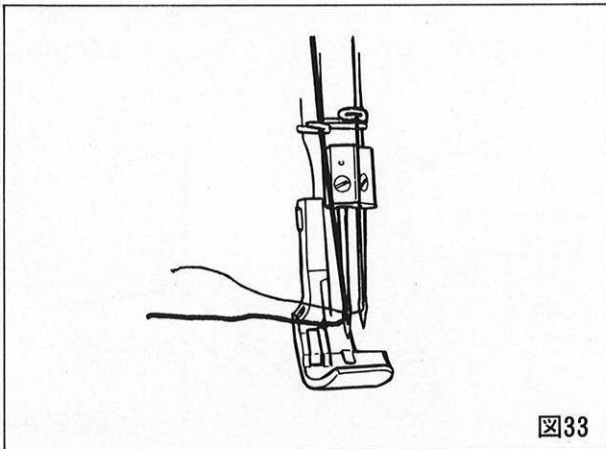


図33

- 針穴に糸を通す前に、まずはずみ車を廻らし、針を上にあげる。
- Wチェーン用針穴に糸を通す。(図33)  
糸は押え金の下を通し、ミシンの後側へ約10cm引き出しておく。
- 上メスを元の位置に戻す。
- メスカバー台を閉じる。



### 3—6 Wチェーンステッチとして使用する場合

Wチェーンステッチとして使用する場合、糸はWチェーン用ルーパー糸及びWチェーン用針糸だけを使います。それ以外の糸は外して下さい。

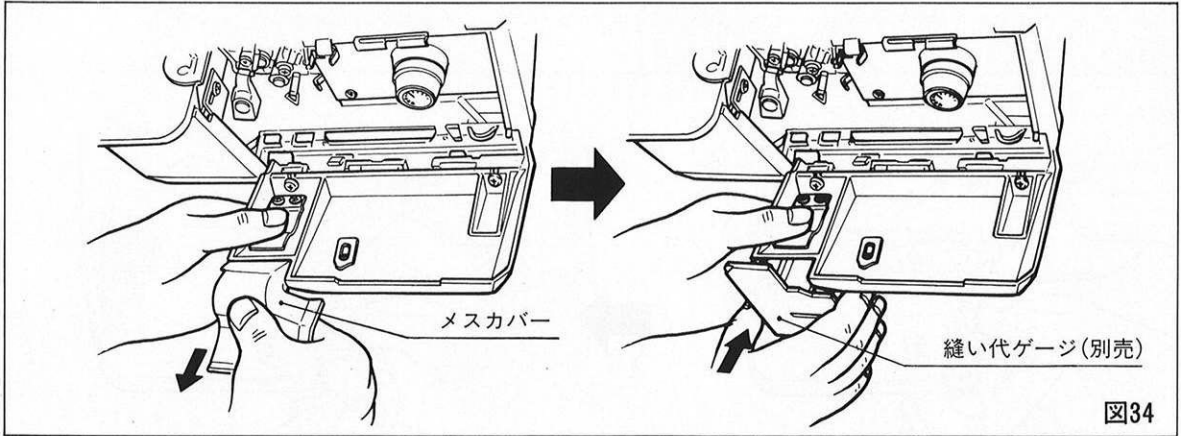


図34

- メスカバー台を開け、メスカバーを外して縫い代ゲージ（別売）を取付ける。(図34)
- はずみ車を廻らし、Wチェーン用ルーパーを最右点の位置にする。
- 切換レバー（赤色）を溝から外す。(図35、35-A)

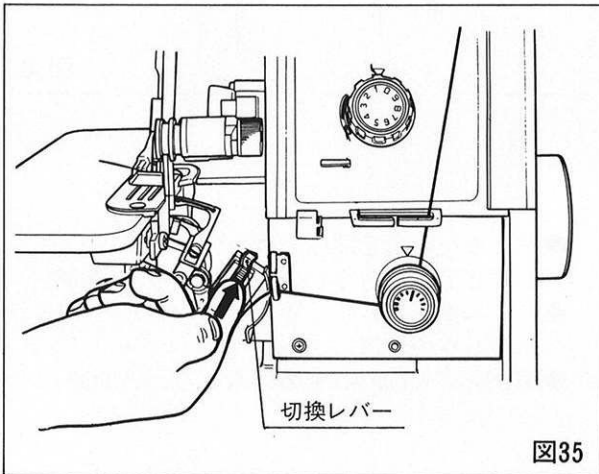


図35

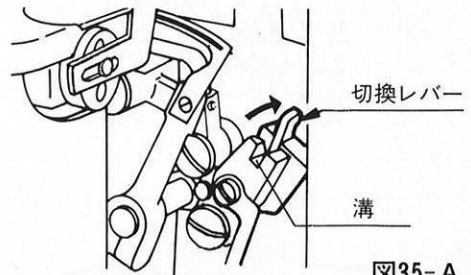


図35-A

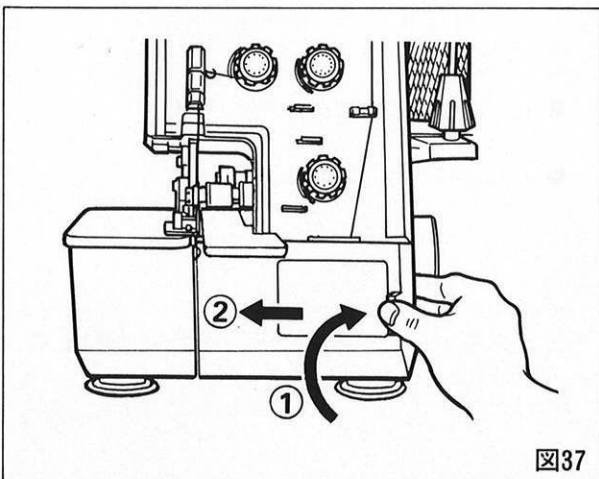


図37

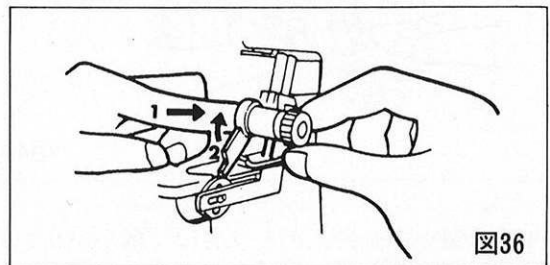


図36

- 左手の指で上メスホルダーを右の方向へ押しながら、上メスを上に回転させる。(図36)
- メスカバー台を閉じる。(図37)

### 3—7 安全縫いとして使用する場合

安全縫いとして使用する場合、縁かがり用針糸・ルーパー糸、及びWチェーン用針糸・ルーパー糸を全てかけて下さい。(P3～P10参照)

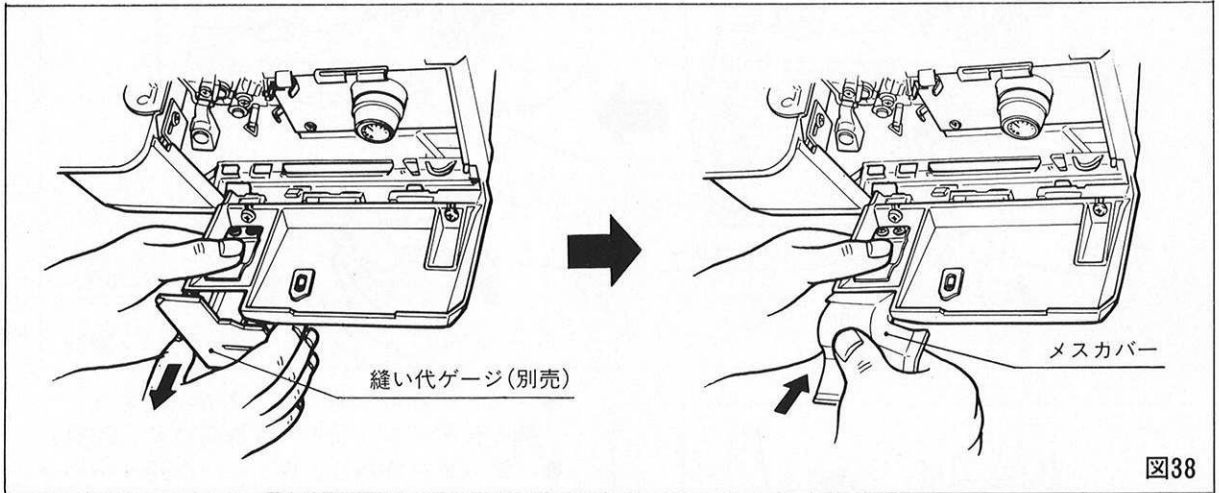


図38

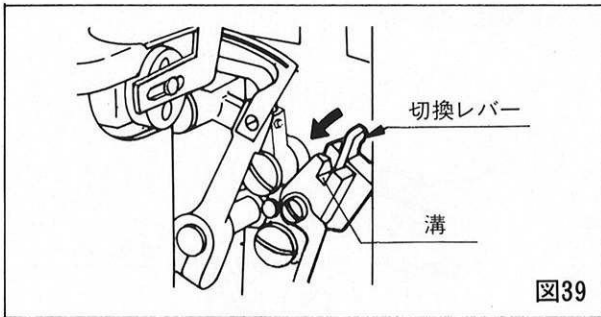


図39

- メスカバー台を開け、縫い代ゲージ(別売)を外して、メスカバーを取付ける。(図38)
- はずみ車を廻らし、Wチェーン用ルーパーを最右点の位置にする。
- 切換レバー(赤色)を溝に入れる。(図39)

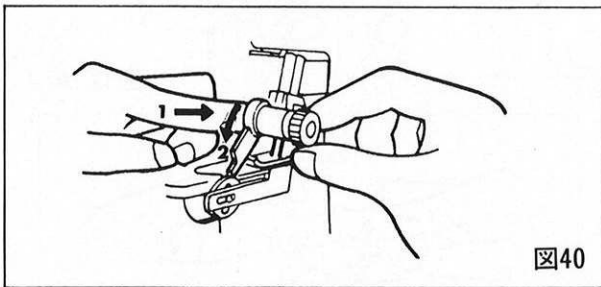


図40

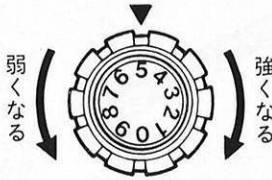
- 上メスを元の位置に戻す。(図40)
- メスカバー台を閉じる。

※安全縫いの糸調子のとり方は「縁かがり」、「Wチェーンステッチ」の場合と同様です。P13「糸調子のとり方」を参照して下さい。

# 4 糸調子のとり方

糸調子のとり方は、布地の種類や使用糸の太さ・種類によって異なります。縫い目を見ながら各糸調子器で正しく調節して下さい。

尚、糸調子器の目盛数字が大きくなるに従って、糸調子は強くなります。



目盛が0—3 = 弱めの糸調子  
 目盛が4—6 = 標準の糸調子  
 目盛が7—9 = 強めの糸調子

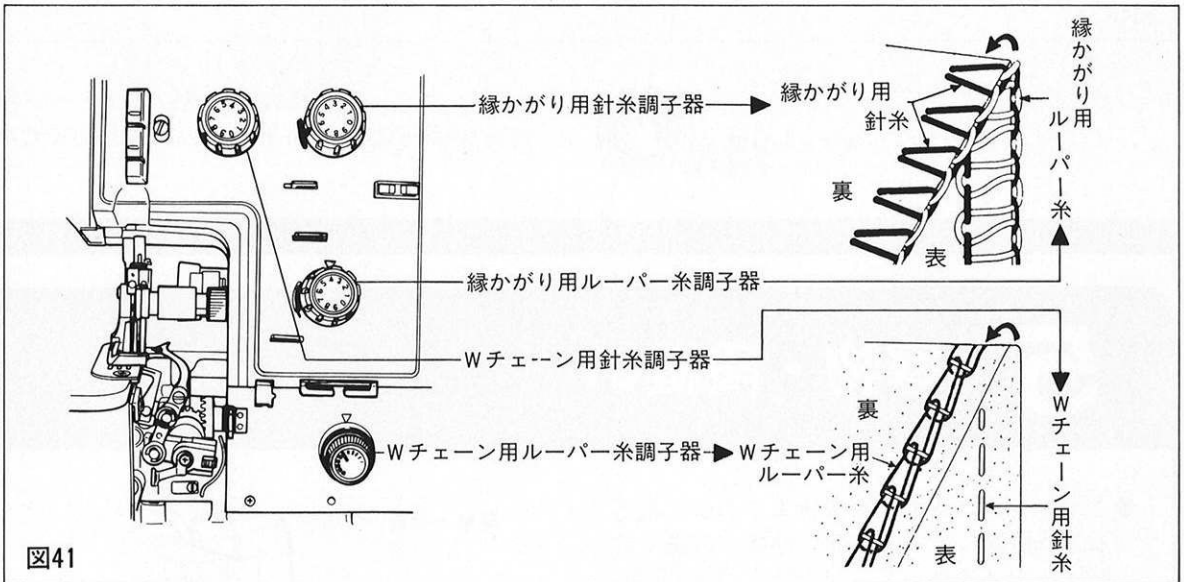


図41

## ● 縁かぎりの糸調子のとり方

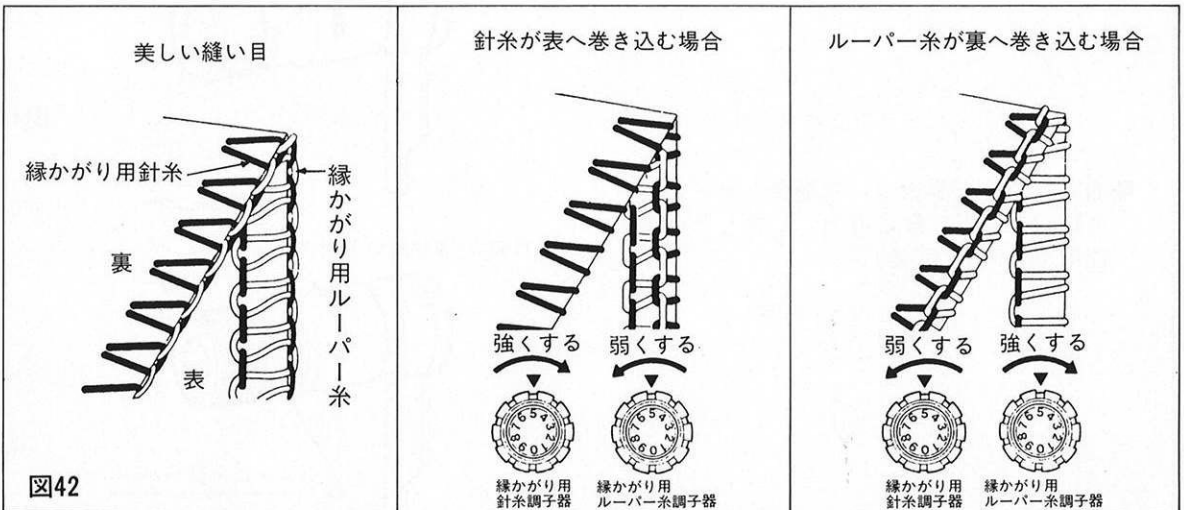


図42

● Wチェーンステッチの糸調子のとり方

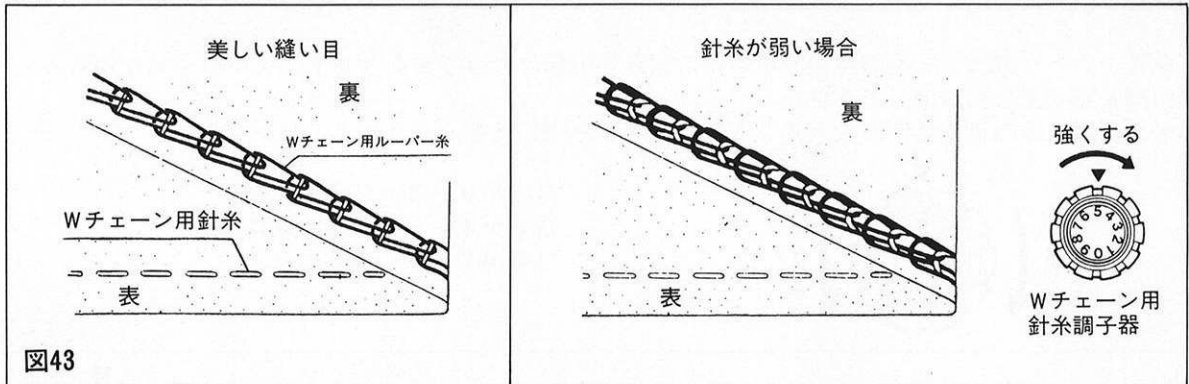
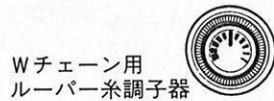


図43



Wチェーン用  
ルーバー糸調子器

Wチェーンステッチの場合、通常、Wチェーン用ルーバー糸調子器の調節をする必要はありません。

# 5 厚物・段縫い

●このミシンは薄物から厚物まで巾広く縫えるようになっていますが、厚物、段縫いの際は、上メスロックレバーを上(Lの方向)に押し上げてご使用下さい。(図44)

●通常縫いや、薄物縫いの場合、上メスロックレバーは下(Rの方向)に押し下げてご使用下さい。(図45)

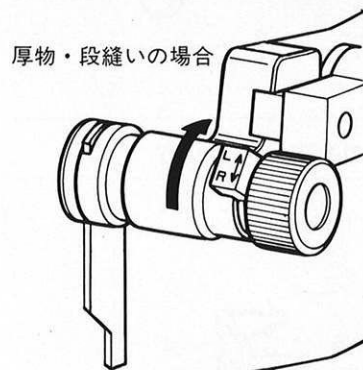


図44

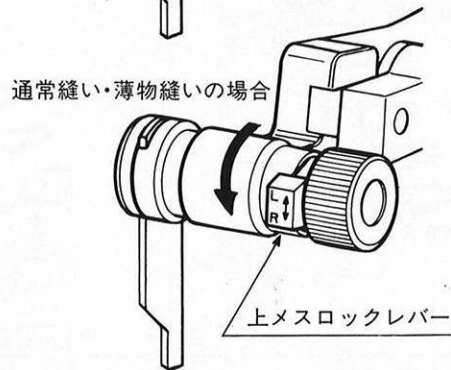


図45



# 6 送り目の調節

このミシンは出荷時、送り目が標準の3ミリにセットされていますが、布地や好みに応じて1ミリから5ミリまで調節する事が出来ます。

- 下側面カバーを開ける。(図46)

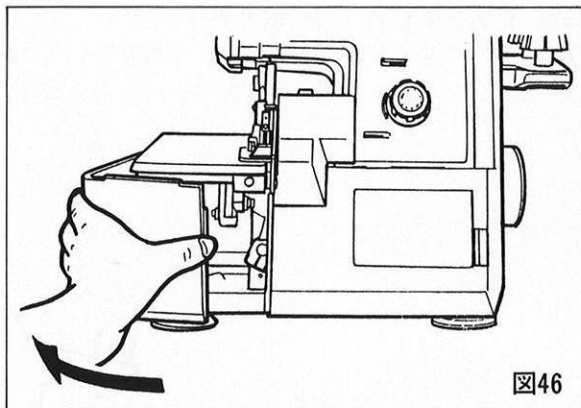


図46

- 左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻らす。(図47)

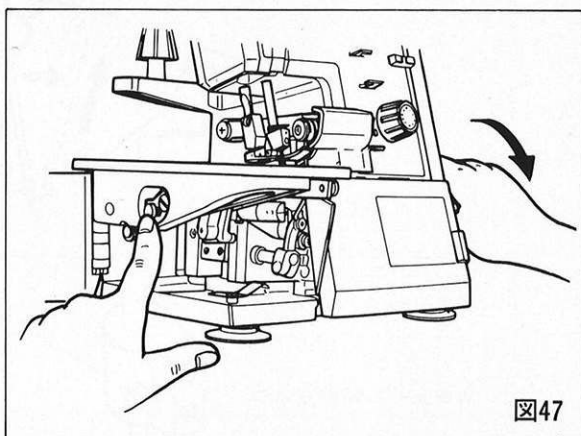


図47

- 送り目ボタンが溝に入ったまま(送り目ボタンを押し続けた状態で)、再びはずみ車を廻らすと、指針が動きます。この時、指針を希望の送り数字に合わせる。(図48)

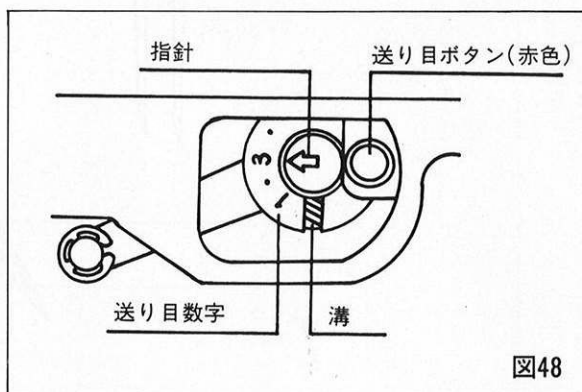


図48

# 7 針の交換

このミシンには、必ずオルガン針のBL×4の11番又は14番をご使用下さい。又、針交換の際は必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。

- はずみ車を廻らし、針を一番上にあげる。
- 針止ネジをゆるめて針を取り外す。
- 新しい針のエグリを後側にして、針留の穴の一番奥まで差し込み、針止ネジを固く締めつける。

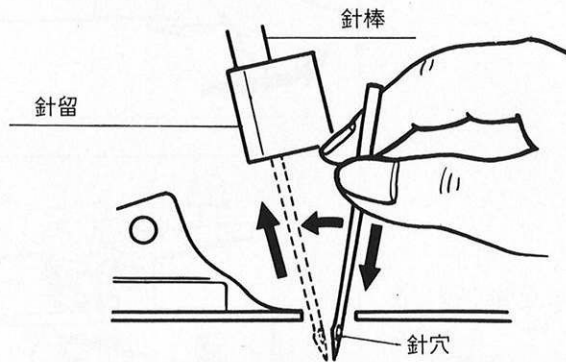


図49

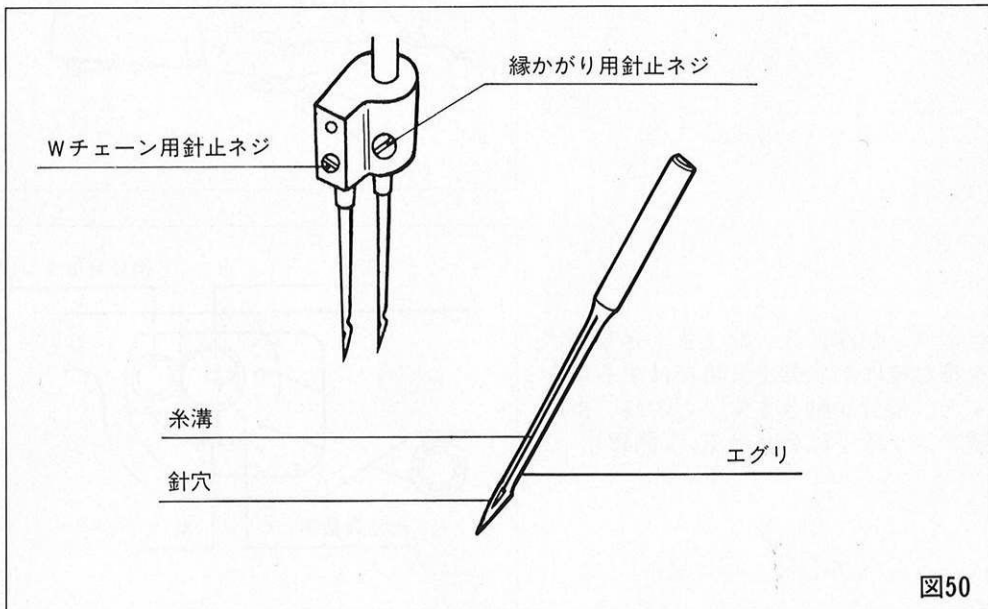


図50

# 8 メスの交換

はじめに必ず電源プラグを抜いてから作業して下さい。  
 メス切れが悪くなった場合、上メスを交換して下さい。(下メスは長寿命の特殊な材質が使われていますので、通常交換の必要はありません。)

## 〔上メスの交換〕

- メスカバー台を開ける。
- はずみ車を廻らし、上メスを最下点の位置にする。(図53)
- 上メス取付ネジをゆるめ、上メスを外す。(図51)
- 新しい上メスをネジで取付ける。この時、上メスの刃先が下メスに対して、約1ミリかみ合うように取付ける。(図53) 上メスの取付けは、必ず上メス最下点の位置で行って下さい。
- メスカバー台を閉じる。

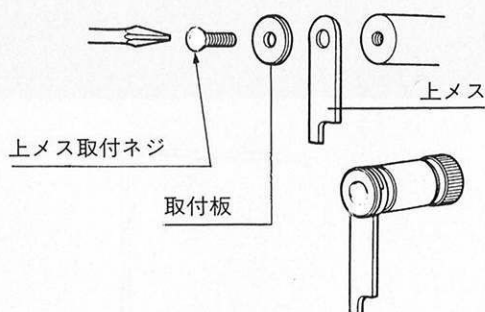


図51

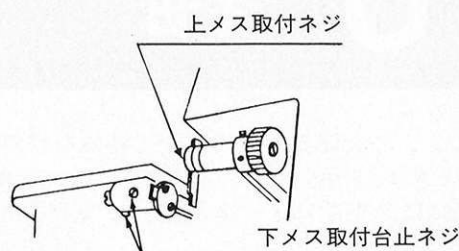


図52

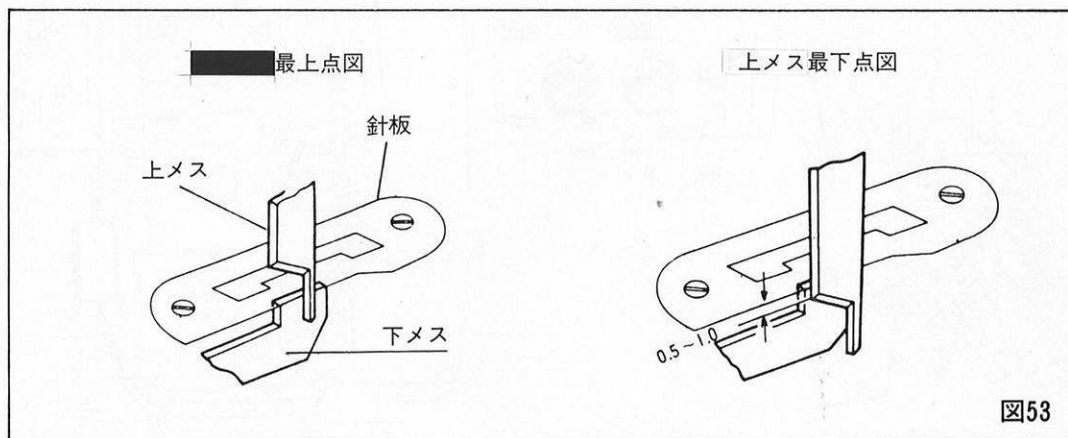


図53

# 9 押え圧力の調節

このマシンはすでに押え圧力を標準（中厚物用）に調節してあります。極薄物・極厚物の場合のみ調節して下さい。薄い生地は押え圧力を弱く、厚い生地は強くします。尚、押え圧力の調節は照明ライトカバーを開き、押え圧力調節ネジで行ないます。

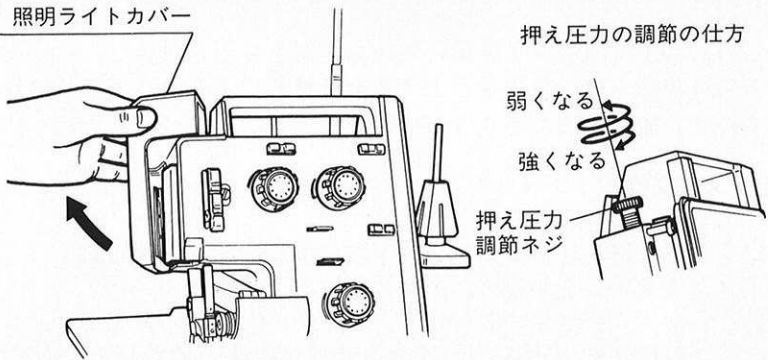


図54

# 10 注油

このマシンの大切な箇所には全て特殊な材料（含油メタル）を用いておりますが、図の矢印の箇所には定期的に1～2滴注油して下さい。

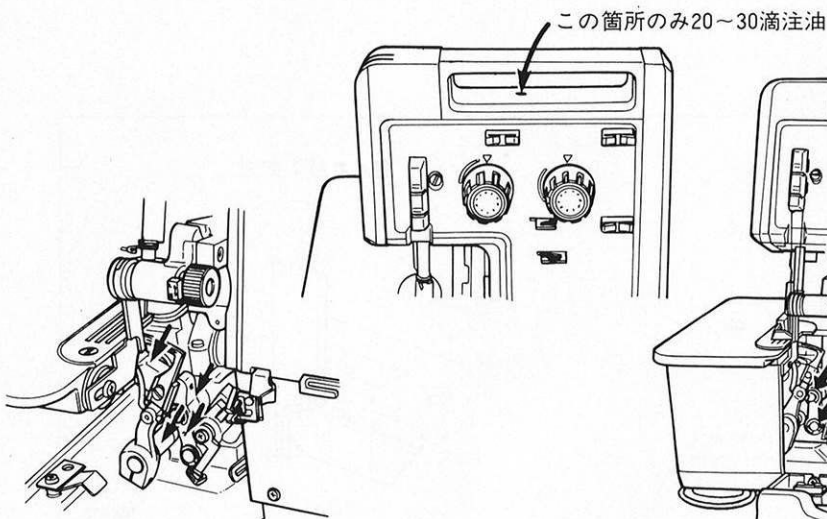


図55

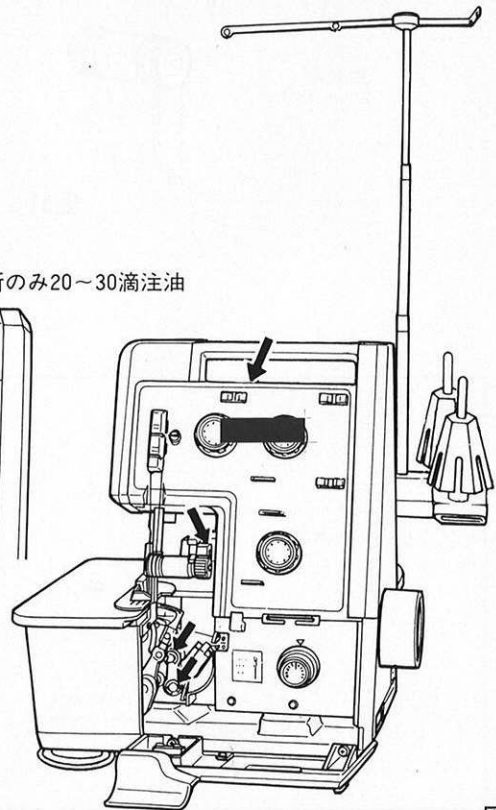


図56

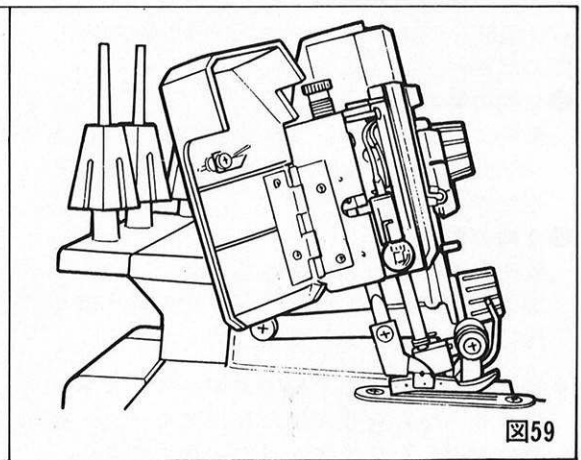
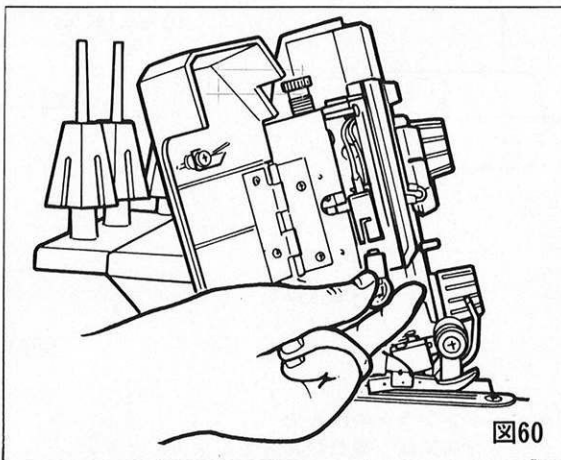
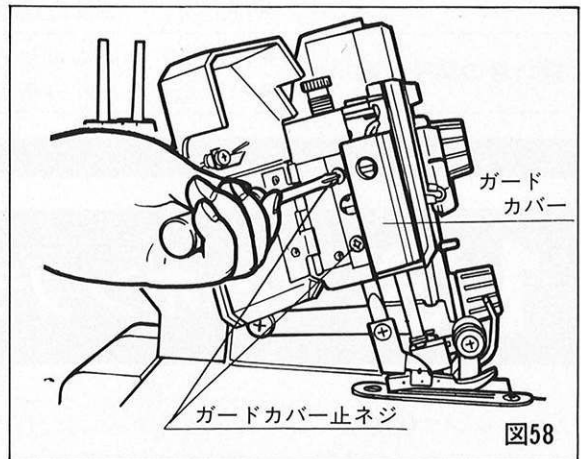
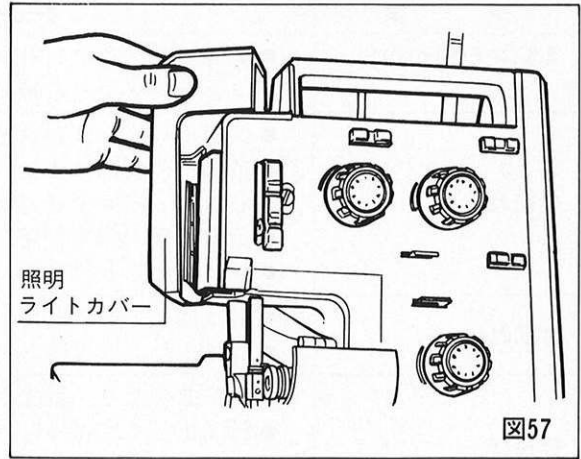


# 11 照明ライトの交換

- 照明ライトスイッチを「OFF」にする。
- 照明ライトカバーを開ける。(図57)
- ガードカバー止ネジ(2本)をゆるめ、ガードカバーを外す。(図58)
- 古い電球を外し、新しい電球を取付ける。(図59、60)
- ガードカバーを取付け、照明ライトカバーを閉じる。

尚、ライトは最寄りのガソリンスタンド、カーショップ、ベビーロック取扱店でお求めになれます。

ご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V 6W)とご指定下さい。



# 12 点検と調整

現象	チェックポイント	ページ
ミシンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電源プラグをコンセントに差し込みましたか。</li> <li>●コントローラーの接続器を本体に差し込みましたか。</li> </ul>	P. 1 P. 1
糸切れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> <li>●糸調子の調節は正しいですか。</li> <li>●針は曲っていませんか。</li> <li>●指定のBL×4を使用していますか。</li> <li>●針は正しく取付けられていますか。</li> </ul>	P. 3～10 P.13～14  P.16 P.16
針切れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●針は曲っていませんか。</li> <li>●針は正しく取付けられていますか。</li> </ul>	P.16
目飛び	<ul style="list-style-type: none"> <li>●針が曲ったり、針先がすり減っていませんか。</li> <li>●針は正しく取付けられていますか。</li> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> <li>●押え圧力の調節は適当ですか。</li> </ul>	P.16 P. 3～10 P.18
縫い目の調子が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●糸調子の調節は正しいですか。</li> <li>●糸は正しくかけられていますか。</li> </ul>	P.13～14 P. 3～10

# 13 カーボンブラシの交換

このミシンに使用しておりますモーターにはカーボンブラシが2個(2カ所)取り付けられています。長時間お使い頂くと、摩耗しますから、「図61」のようにカーボンブラシを交換してください。

## ① 交換の時期

摩耗によりカーボンブラシ図のようにブラシ部分が3mm程度になりましたら交換してください。

## ② 交換の方法

最初にモーターを取り外します。  
次にモーターのブラシキャップを各々取り外し新しいブラシと交換してください。

※摩耗したブラシをそのまま使っているとモーターから火花が出たり、又モーター故障の原因になりますからご注意ください。

カーボンブラシ図

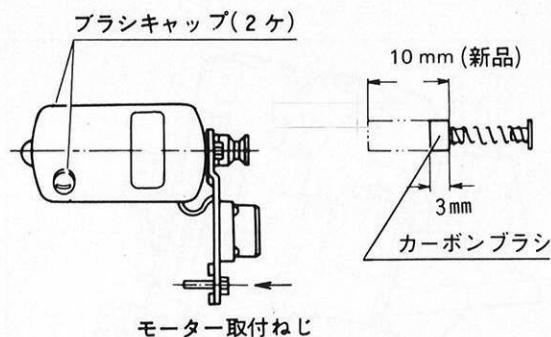


図61

※カーボンブラシの購入先  
ミシン店又は、電気器具店でお求めください。

# 14 梱包明細

1. ミシン (モーター付)
2. コントローラーセット
3. ビニールカバー
4. ご使用のてびき
5. 保証書
6. アクセサリーケース
  - ドライバー
  - 針 (BL×4)
  - 上メス
  - ピンセット
  - 掃除用ブラシ
  - 油差し
  - 木駒受
  - ベビーネット

下側面カバーのボックスには、お仕事の際に必要な付属品を入れてご使用下さい。

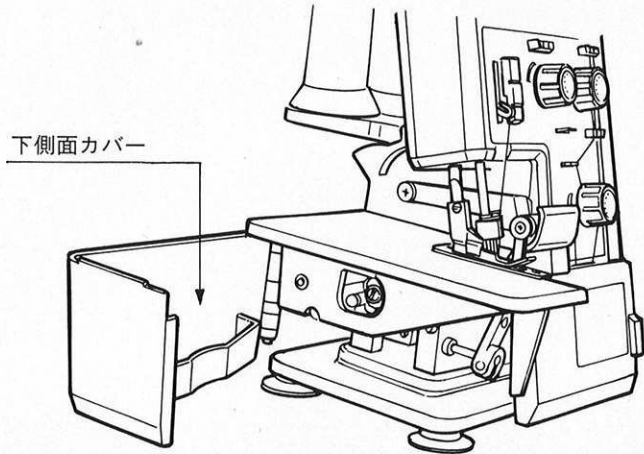


図62

# 15 仕様

基本項目	仕様
縁かがり幅	4 ㎜
針幅 (針間隔)	3 ㎜
縫い目 (送り目) 長さ	1 ~ 5 ㎜
使用針	BL×4 11番 14番
使用糸本数	4 本
給油方式	油芯式
ミシンの大きさ	309 ㎜×257 ㎜×305 ㎜
ミシンの重さ	7 kg (モーター付)

都合により仕様、及び使用書の内容を変更する場合があります。



300円

